

山下倫範様

9月10日付のお手紙面白く拝見いたしました
お知らせ下さった関数 $L(n)$ の特性質につき
ました。これらは本質的には既知のものごあること
を御注意いたしたく思えます。下記の文献と
ならん下ご (これらの雑誌か今手許にありません
のご詳しい対照といたしおねますか。専断ごは
ごごかごならんごなれごと思えます。)

- S. Sivasankaranarayana Pillai: On a function connected with $\phi(n)$. Bull. Amer. Math. Soc. 35(1929), 871-891 (変数?)
- H. Shapiro: An arithmetic function arising from the ϕ function. Amer. Math. Monthly 50(1943), 18-30
- Murányi Aladár: Az Euler-féle ϕ -függvény iterálásával nyert számelméleti függvényről. Mat. Lapok 11(1960), 47-67
- H. Lindren: Australian Math. Teacher 10(1954), 52-53
- E. S. Barnes: Australian Math. Teacher 11(1955), 20-21

最後の2つの論文は表題不明ごすか。 $L(n)$ の '関数
等式' についで記述ごあるごす。これらの
雑誌とならんごたりましたら内容をお知らせ下ごい
ませんごいごか? (ごなればコピーをを送り下ごい。)

22 上

1977. 9. 12

左岡山 市

中山三郎子

山下倫範様

9月20日 前便の続です

その後当教室の書庫に Mat. Lapok があること
分りましたので A. Murányi の論文のスコピー一部と
ここに送りました (ハンガリー語ですが本尾
に口译語とドイツ語の summary があります)

$L(n)$ の定義 (Murányi は $n \in \text{grau } n$ と書
ていますが) は 山下様と全く同じで 定理 I の
同数等式 $L(n)$ に対する不等式は 定理 XII &c. &c.
というように $n \geq 2$ 居ります $m \in \mathbb{Z}$ $L(n) = m$ と
なる n については考えられています

猶 此の文献表に於て S. S. Pillai の
論文の頁数は 837-841 でした 前便に記した
ものの他にも 2つ引用がありこれは L の性質も
ものではないと思われ 是非 $n \geq 2$ だけ
に $L(n) < n$ があります

山下様の $L(n)$ の取扱いは 是人のものより簡単
であるか見通しの良いものでありましたら 雑誌
「数学」の寄書欄にも投稿されたら如何ですか?

22

1977年9月13日

内山